

モ殆下利用シ盡サレ最上流部ニ僅ニ水力地點一箇所ヲ殘

四時川水力地點表 順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
(三三四)	四時川	五	福島縣石城郡田人村 旅人男大平	同郡田人村 旅人横川	湯水 三三 低水 四三 平水 五五	二九九	一、〇九五 一、四二七 一、八二五	一、二六〇	三三六	一〇〇〇 九六九 九〇九	一〇九五 一三八三 一六九九	甲

水力地點ノ説明

順位三三四 本地點ハ男大平ヨリ右岸ニ取入レ横川ニ
テ放水ス水路ハ全長ノ三分ノ二ヲ隧道他ヲ開渠トナス

第十六章 堤川水系

第一節 概説

堤川ハ荒川及駒込川ノ二川ヨリ成リ陸奥國東津輕郡ノ
中央部ヲ南ヨリ北ニ向ツテ流レ青森市ニテ陸奥灣ニ注ク、
兩川ハ河口ヨリ上流僅ニ半里餘ノ地ニテ合流スルモノニ
シテ全流域面積一七六方里ノ内合流點以上ノ荒川ニ屬ス
ル面積一〇七方里駒込川ニ屬スル面積六七方里アリ兩川

ノ流域ハ即チ本水系ノ流域ナルヲ以テ茲ニ説明ヲ省キ次
節以下各川ノ詳細ヲ述ヘントス唯氣象ニ關シテ駒込川上
流松澤ニ本省設置ノ雨量觀測所アリ下流青森市ニハ縣測
候所アリ全流域ノ状態ヲ知ルニ便ナルヲ以テ茲ニ其ノ大
要ヲ述ヘン

前記二箇所ノ觀測ニヨレハ大正八、九、十、三箇年ノ平均降
水年量青森ニテ一、五一三耗ナルニ松澤ニテハ一、九〇四耗
ナレハ八甲田山上ニテハ二、〇〇〇耗以上ナルヘク月最多
ハ松澤ハ十一月二五、一耗青森ハ七月一九七耗ニシテ降水
日數ハ兩地トモ二〇〇日ヲ算シ冬季ハ月ノ殆ト全部降水
アリ。積雪ハ青森市ニテ二、三尺ヲ下ラサレトモンレヨリ
上流山岳部ニ至レハ次第ニ其ノ深ヲ増シ八甲田山上ニハ
盛夏ノ候ト雖溪谷ニ白雪ノ横ハルヲ見ル。氣温ハ青森ニ

年平均一〇度ニシテ八月最高ク二三五度、日ノ最高ハ三
四六度ニ昇リ最低バ一月ノ(一)一四度ニシテ日ノ最低ハ(一)
一六二度ニ下リタリ蒸發量ハ年四五六耗ヲ算シ風ハ寒冷
ノ半歳ハ北西ノ風強ク溫暖ナル半歳ハ東南ノ風多シ

第二節 荒川

一、流域 本川ハ源ヲ八甲田山硫黃岳(一三六〇米及駒ヶ
峯(二四一六米)ニ發シ西北流スルコト三里下湯ノ下流ニ於
テ寒水澤ヲ右岸ニ入レ之ヨリ西北ニ流ルルコト約三里高
田村ニ至リテ方向ヲ東北ニ轉シ合子澤川及横内川ノ二川
ヲ容レ青森市附近ニテ右岸ニ一大支流駒込川ヲ合シ堤川
トナル流路約九里其ノ流域ハ高田村ノ全部並荒川村及筒
井村ノ大部ヲ占メ面積一〇七方里アリ水源部ハ山岳重疊
シ山勢峻峻ナレトモ下湯ヨリ下流ハ低山性ノ緩傾斜地ト
ナリ澤部以下平々坦々タル水田又ハ畑地ニ連レリ
地質ハ上流部ハ火山岩ナレトモ中流部南股山ノ下流ヨ
リ澤部ニ至ル迄ハ第三紀層ヨリ成リ澤部以下河口ニ至ル
間ハ第四紀層ニ屬セリ。本流域ニハ酸ケ湯及下湯ノ硫黃
質溫泉アリ

本流域内山林地ハ全流域ノ約八割ヲ占メ内四割ヲ國有

益林況ヲ改良スルノ計畫アリ田畑ノ耕作物ハ米、大豆、粟、馬
鈴薯、林檎等ナリ

本流域内湖沼ナキモ火山質ナルヲ以テ降水保留セラレ
湧水量多ク流出量ノ調節セラルルコト尠カラズ

二、河川狀況 下湯ヨリ上流部ハ山岳屹立シ河幅狹隘ニ
シテ兩岸絶壁高キモ下湯ヨリ澤部迄ハ兩岸ノ丘陵河敷ヨ
リ離レテ屏立シ河幅廣ク水深淺クシテ亂流シ屈曲少ク勾
配急ナリ河床ハ玉石及砂礫ヲ以テ埋メラル
澤部ニ測水所アリ其ノ少シク上流ヨリ野澤用水引用セ
ラルルヲ以テ全流量ヲ知ランカ爲ニハ此ノ用水量ヲモ加
味スルヲ要ス用水ハ灌溉兼飲用ニ充テラレ四季ヲ通シ引
用スルモ其ノ量ハ夏季九〇個冬季三〇個ナリ野澤ニ於ケ

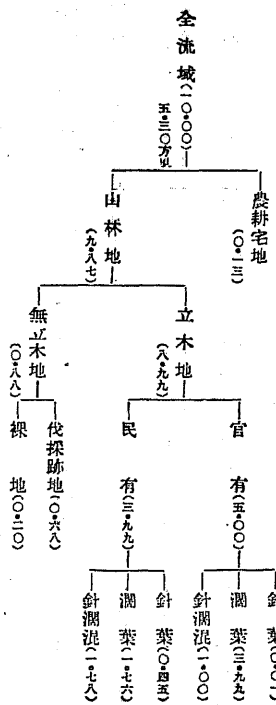
荒川流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マズ
流量ニ(一)ヲ附セルハ用水ヲ加算シタルモノナリ

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量					流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	濁水	最小	最大	平水	低水	濁水
八七	一五七	荒川	青森縣東津輕郡高田村野澤澤部	五三〇	大正八年 (九八二)	(二二四)	(七六)	(三六三)	(五九)	(二六八)	(二二五)	(一四七)	(二六〇)	(二四二)
					大正九年 (一三三〇)	(一六八)	(八八)	(四五四)	(七三)	(二四九)	(二二五)	(一四七)	(二六〇)	(二四二)
					大正十年 (一三三〇)	(一六八)	(八八)	(四五四)	(七三)	(二四九)	(二二五)	(一四七)	(二六〇)	(二四二)
					大正十一年 (一三三〇)	(一六八)	(八八)	(四五四)	(七三)	(二四九)	(二二五)	(一四七)	(二六〇)	(二四二)
					平均 (一三三〇)	(一六八)	(八八)	(四五四)	(七三)	(二四九)	(二二五)	(一四七)	(二六〇)	(二四二)

荒川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ数字ハ全流域ニ
對スル面積ノ割合ナリ



ル流水ノ變化ヲ見ルニ勾配急ナルヲ以テ水位ノ變化少ク
最高最低ノ差三尺ヲ出テ十二月ヨリ春季融雪時迄ハ水
位ノ變化少キモ四月五月以降ハ變動甚シク出水ヲ見ルハ四
五月ノ候及秋季ノ候ナリ流量多キハ五月ニシテ二月最少
ク濁水ニ達スルハ二月前後及六七月ノ頃ナリ。流域一方
里當濁水量ハ一五個ニシテ最大流量ト濁水量トノ比僅ニ
一五ナリ。水量比較的少量ニシテ増減甚シカラサルハ森
林狀態良好ナルト降雪期長ク且地質火山質ナルニヨルナ
ラン。冬季ハ上流部ハ所々全面結氷スルコトアレトモ下
湯以下ハ唯兩岸ニ結氷ヲ見ルノミナリ

三、水利及治水 澤部ヨリ上流ニハ右岸ニ大柳邊及向野
部落ノ耕地ヲ灌溉スヘキ大柳邊堰アレトモ其ノ反別一七

町歩ニ過キス引用水量ハ夏季六個ニシテ大ナル影響ナシ
澤部ニハ下流一帯ノ田地ヲ灌漑スヘキ用水アレトモ水力
地點ニハ關係ナシ。流水ハ下湯温泉ノ上流ヨリ青森市迄
ノ間ニ行ハルルモ六月ヨリ十一月ニ至ル増水期ニシテ數
量ハ年七〇〇〇石ニ過キス水車治水其ノ他ノ關係ナシ

荒川水力地點表

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	延長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
三二六	荒川	一	青森縣東津輕郡荒川村 荒川松倉	同郡荒川村 橫倉	湯水 三七 低水 五一 平水 六八	二三〇	一、三〇二 一、七三六	一、五〇〇	二四六	一〇〇〇 九六九 八八五	九四五 一一六二 一、五五六	甲
三二七	同	二	青森縣東津輕郡荒川村 荒川橫倉	同郡高田村 邊	湯水 六四 低水 八七 平水 一一七	二六九	二、五九八 三、四九四	二、四〇〇	四四	一〇〇〇 九六九 八八五	二、五二七 三〇九二	甲
三二八	同	三	青森縣東津輕郡高田村 野澤川邊	同郡高田村 野澤部	湯水 七四 低水 一〇〇 平水 一三五	一九三	一、五八五 二、一四二 二、八九二	二、二〇〇	四八七	一〇〇〇 九六九 八八五	一、五八五 二、〇七六 二、五九九	甲

水力地點ノ説明

順位三二六 本地點ハ下湯ヨリ數町ノ上流ニ高サ約一
〇尺ノ堰堤ヲ築造シ左岸ヨリ取入レ彎曲部ヲ貫キ後開渠
及隧道ニテ寒水澤落合ノ下流ニ導キテ放水ス

順位三二七 本地點ハ前地點ノ放水ト寒水澤ノ水ヲ合
セ左岸ニ取入レ大柳邊ノ上流部ニ導キテ放水ス

順位三二八 本地點ハ前地點ノ水ヲ其ノ儘受ケテ野澤
ニ導キテ發電シ其ノ餘水ヲ灌漑用水路ニ放ツモノトス

第三節 駒込川

一、流域 本川ハ荒川ノ東方ニ位シ源ヲ高田大岳二、五五
一米ニ發シ西方八甲田大岳二、五八四米赤倉岳二、五五〇米
東方黒森二、〇二三米石倉山八九一米ヨリ發スル幾多ノ小
溪流ヲ合セ新湯元湯ヲ經テ千仞ノ峡谷ヲナシ西北ニ流レ
青森市附近ニテ荒川ニ合ス流路八里餘其ノ流域面積六七
方里ニシテ造道村ノ全部及筒井村ノ一部之ニ屬ス、水源地
方ハ四圍九〇〇米以上ノ高山ニシテ其ノ裾野ハ六〇〇米
内外ノ臺地ヲナシ傾斜比較的緩ナレトモ中流部ハ兩分水
嶺間ノ間隔僅ニ一里ニ過キス河流ハ此ノ間ヲ流ルルヲ以
テ兩岸ハ三〇〇米以上ノ斷崖又ハ急傾斜ノ岩山聳立シテ
近ツクヘカラス下流部ハ田茂木野附近ヨリ山勢次第ニ緩
傾斜トナリ駒込ニ至レハ全ク平坦トナル。地質ハ上流一
帶ハ輝石安山岩橄欖石等ノ火山岩ニシテ中流部ハ第三紀
層ニ屬シ下流部ハ砂利玉石等ノ第四紀層トナル

本流域内山林ハ國有林全流域ノ約七割ヲ占メ又民有林
アリテ下流部造道村字下松澤及幸畑附近ニ散在ス。國有
林ハナ部分山毛櫸、檜其ノ他ノ潤葉樹ヲ主トシ上流難岳及
石倉山附近ハ二〇年以上一〇〇年ニ達スル喬木林多シ湯

ノ川附近陸軍用地約一方里ハ二〇年以上一〇〇年ノ潤葉
樹散生シ之ヨリ下流下松澤附近ニ至ルマテハ兩岸ニ沿ヒ
テ稍密生セル潤葉樹アルモ兩岸ヲ離ルルコト約半里ニシ
テ放牧地又ハ雜木散生地、無立木地アリ。民有林ハ國有林
ニ比シ一般ニ狀態粗惡ニシテ村有林ハ概ネ放牧地及採草
地タリ人工植林ハ之ヲ行ハス國有林、民有林共伐採跡地ハ
天然造林ニ委スルノミナリ。湧水ノ多キコト荒川ト異ナ
ルコトナシ

二、河川狀況 水源ヨリ鳴澤附近迄ハ八甲田山麓ノ平坦
ナル高臺ヲ流ルルヲ以テ勾配緩ナルモ鳴澤以下頗ル急ニ
シテ三階瀧、大瀧等ノ瀑布連續セリ下松澤ヨリ下流ハ稍緩
トナルモ猶急流タルヲ失ハス川目ヨリ下流ハ俄ニ勾配ヲ
失ヒ河幅廣マリ河床砂礫堆積シ駒込ヨリ下流ニ至レハ兩
岸水田多シ。流量ノ變化ハ地勢、地質、森林其ノ他河況ヨリ
推シ荒川ト大差ナキモノト認メラルルモ河幅小ナルヲ以
テ水位ノ昇降頗ル大ナルモノアリ上流部新湯、元湯等硫黃
質ヲ含メル温泉多ク河水タメニ硫黃質ヲ帶ヒ鐵類ヲ腐蝕
スト云フ

三、水利及治水 兩岸屹立スルヲ以テ耕地ナク唯駒込ノ
下流ニ多少存スルノミニテ水力地點ニハ關係ナシ。流材

ハ春秋ノ候松澤ヨリ荒川合流迄行ハレ年量一三、〇〇〇石ニ達ス。水車、治水其ノ他ノ關係ナシ。水力事業トシテハ青森電燈株式會社ノ既設發電所ニアリ

四、水力地點 水力利用範圍ハ勾配急ナル鳴澤ヨリ駒込ニ至ル約四里ノ間ナルモ其ノ大半ハ前記青森電燈會社既設ノ地點ニ屬シ殘部ハ僅ニ一里餘落差二五〇尺ニ過キス

駒込川水力地點表 落差ニキヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水路長	流域面積	能發電率	年平均馬力數	等級
三五	駒込川	四	青森縣東津輕郡造道村駒込下松澤	同郡造道村駒込川目	湍水 七四 低水 一〇一 平水 一三五	*二四三	一、九九六 二、七二四 三、六四一	二七六〇	四八八	一〇〇〇 九六九 八八五	一九九六 二六四〇 三二三	甲

水力地點ノ説明

順位三二五 本地點ハ下松澤合流點下ニ取水堰堤ヲ設ケ殆ト全部隧道ニテ川目ニ導キテ放水ス

三鴻ヲ經テ日本海ニ注ク全長約二六里アリ。其ノ流域ハ

第十七章 岩木川水系

第一節 概説

本水系ハ陸奥國ノ西部ニアリ國內第一ノ大河ニシテ其ノ上流ハ村市川、平川、淺瀬石川等ノ諸支流ニ分レ源ヲ泊嶽連山及八甲田群山地方ニ發シ津輕平原ニ出テ北流シテ十

東、中、北ノ三津輕郡ノ全部ヲ占メ面積一二五方里アリ。東、南、西ノ三方ハ分水嶺タル高峯連互シ標高高キモ山嶽ノ傾斜ハ分水嶺附近ヲ除ク外比較的緩ニシテ弘前市ヨリ下流ハ所謂岩木平野ノ平々坦々タル耕地ヲ成ス從ツテ本水系ハ中流以下勾配緩ニシテ落差殆トナク上流部ノ支流ト雖淺瀬石川ノ稍急ナルヲ除キテハ村市川、平川何レモ落差ニ乏シ。平川ハ鐵道沿線ニ在リテ既ニ利用セラレ淺瀬石川亦過半利用セラレタレトモ尙二三地點ノ存スルアリ村市川ハ未タ利用セラレスサレハ將來利用ノ見込アルハ村市、淺瀬石ノ二川トス次節以下是等二川ニツキ解説スヘシ